



NEW

Q8155

波長可変光源

本測定器は、WDM光通信で使用されるC/Lバンドにおいて、高波長確度、高波長分解能を実現した波長可変光源です。

WDM光通信で使用される光受動素子、特にAWG (Arrayed-Waveguide Grating)やFBG(Fiber Bragg Gratings)などの光狭帯域フィルタの波長特性の評価に最適です。高感度光パワー・メータと組み合わせることにより、これらの光受動素子の波長特性を、高波長確度、高波長分解能、高ダイナミック・レンジで測定できます。

広い波長可変範囲	: 1525 nm ~ 1630 nm
高波長確度	: ± 10 pm
高波長分解能	: 0.1 pm
高出力	: + 3dBm (1540 nm ~ 1620 nm)
低雑音	: 50dBcのサイド・モード抑圧比, - 160 dB/HzのRIN
波長掃引機能	
光出力可変減衰機能	

波長可変光源

Q8155

性能

項目	内容	
波長範囲	1525 ~ 1630 nm	
波長分解能	0.1 pm	
絶対波長確度	±10.0 pm	
相対波長確度	±7 pm	
波長再現性	±5 pm	
波長安定度(1時間, 周囲温度一定)	±0.8 pm	
可変速度(代表値, 1/10/100 nm step)	600 ms/800 ms/2.8 s *1	
線幅(代表値)	100 kHz *2	
出力パワー	+ 3 dBm(1540 ~ 1620 nm) + 1dBm(1525 ~ 1630 nm)	
最小出力パワー	-30 dBm	
パワー安定度(1時間, 周囲温度一定)	±0.03 dB	
パワー再現性(代表値)	±0.01 dB	
パワー直線性	±0.1 dB	
パワー・フラットネス(波長に対する)	±0.2 dB(APS機能: ON) ±0.4 dB(APS機能: OFF)	
サイドモード抑圧比(代表値)	50 dBc	
相対強度雑音(RIN, 代表値)	-160 dB/Hz	
光変調機能	内部低周波変調	200 Hz ~ 300 kHz, 変調度約30%
	外部高周波変調	10 ~ 120 MHz
光出力モニタ機能	出力パワーを表示画面上でモニタ可能	
光出力可変減衰機能	-30 dBmまで可変可能	
光出力	出力ファイバ	偏波保存ファイバ(パンダ)
	偏光状態	直線偏光, 出力コネクタのキー方向, 消光比20 dB(代表値)
	コネクタ(ユーザにて交換可)	FC型(標準) ST型, SC型(別売アクセサリ)
入出力インタフェース	GPIO	IEEE488-1978
	ステップ・トリガ信号出力	BNC, TTLレベル
	外部高周波変調入力	BNC, 入力インピーダンス50W, 最大入力パワー +10 dBm
一般仕様	使用環境	温度+10 ~ +35, 相対湿度85%以下(結露しないこと)
	保存環境	-10 ~ +50, 相対湿度85%以下(結露しないこと)
	電源	AC 100 V - 240 V, 50/60 Hz, 200 VA以下
	外形	350(幅) × 132(高) × 450(奥行)mm
	質量	16 kg以下

*1: High SpeedがONで, APSがOFFのとき

*2: High SpeedがONのときは約10 MHzになります。内部低周波変調機能により最大50 MHzまで可変可能です。

アクセサリ(別売)

品名	型名
光コネクタ・アダプタ	FCコネクタ・アダプタ: A08161
	SCコネクタ・アダプタ: A08162
	STコネクタ・アダプタ: A08163